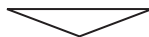
GAUDI

ブルーレイディスクプレーヤー

取扱説明書

GHV-BD110シリーズ

設置の手順

製品構成を確認します。
（1 ページ）

本取扱説明書の「安全上のご注意」「使用上のお願い」「ディスクについて」「対応メモリについて」「各部のなまえ」 をよく読みます。
（3 ～ 22 ページ）

準備を行います。
（23 ページ）

本製品の電源をオンにします。
（24 ページ）

製品構成の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっている事をご確認ください。

□GHV-BD110K（本体）	1台
□専用リモコン	1個
□HDMIケーブル	1本
□映像/音声出力専用ケーブル(コンポジット)	1本
□単4形乾電池（リモコン用）	2本
□取扱説明書（本書）	1部
□１年間保証書	1部

目次

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

この表示を守らないと、人が死亡または重傷を負うおそれがあります。

この表示を守らないと、人がケガをしたり、物的損害が発生するおそれがあります。

なお、⚠注意に記載された事項、及び本文中の注意事項でマークの無い注意事項でも状況によっては、重大な結果に結びつく可能性があります。必ず「安全上のご注意」を守ってください。

■絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（もし異常が起こったら）

プラグを抜く

●煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、販売店または弊社テクニカルサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

●内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

プラグを抜く

●落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

プラグを抜く

●電源ケーブルのコードが傷んだり、発熱したときは、すぐに電源スイッチをオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜く。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。販売店または弊社テクニカルサポートにご連絡ください。

⚠警告

電源について

100V以外禁止

●交流 100ボルト (50/60Hz) のコンセントに接続する

交流 100ボルト以外で使用すると、火災・感電の原因となります。また、たこ足配線などで、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。発熱による火災の原因となります。

禁止

●国外で使用しない

本製品を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

プラグを抜く

●電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源ケーブルを抜いてから乾いた布で取り除く

そのまま使用すると火災·感電の原因となります。また、電源ケーブルの刃にほこりがたまると自然発火（トラッキング現象)を起こす可能性があります。年に数回、定期的に刃のほこりを取り除いてください。

禁止

●電源プラグのコードの上に重い物をのせない

コードが本製品の下敷きにならないようにしてください。また、コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆わないでください。

●電源プラグのコードを

・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない

・引っ張ったり、はさんだりしない

・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

禁止

コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店または弊社テクニカルサポートに交換をご依頼ください。

設置について

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所や振動のある場所に置かない

本製品が落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

●風呂場・シャワー室など、水のかかる恐れのある場所では使用しない

火災・感電・また故障の原因となります。

●水が入ったり、ぬらさないようにする

本製品は防水設計されておりません。ぬらさないようにご注意ください。
内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

使用について

●修理・改造・分解はしない

本製品のキャビネットを外したり、改造したりしないでください。内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店または弊社テクニカルサポートにご依頼ください。

●ぬれた手で電源ケーブルを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

●異物を挿入しない

ディスクトレイから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●雷が鳴り出したら本製品や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠注意

設置について

必ず行う

●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源ケーブルの刃に触れると感電することがあります。

禁止

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない

発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

●電源プラグを抜く時はコードを引っ張らない

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずコンセント部を持って抜いてください。

禁止

●電源プラグのコードを熱器具に近づけない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

●温度が高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くなど、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止

●調理台や加湿器のそばなど、油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因となることがあります。また、たばこの煙なども機器の故障の原因になることがあります。

注意

●移動させる場合は外部の接続コード類を外してから行う

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

注意

●接続する機器の取扱説明書の指示に従う

テレビ、オーディオ機器、スピーカーなどに機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

使用について

注意

●電源をオンにする前には音量を最小にする

過大入力で本製品に接続したスピーカーが破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってケガの原因となることがあります。

禁止

●本製品のレーザー光源をのぞきこまない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

禁止

●長時間音が歪んだ状態で使わない

本製品に接続したスピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

●本製品に乗ったりしない

特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

注意

●ピックアップレンズに触れない

ピックアップレンズに触れると故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

注意

●ヘッドフォンをご使用になる時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

●テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない

音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

プラグを抜く

●旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災の原因となることがあります。また、ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください。

⚠注意

電池について

禁止

●指定以外の電池は使用しない
●新しい電池と古い電池、種類の違う電池を使用しない
電池の破裂、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

注意

●極性表示(プラス(+)マイナス(−)の向き)に注意し、表示通りに入れる
間違えると、電池の破裂、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

●長時間使用しない時は、電池を取り出す

電池を取出す

●電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った電池は入れておかない
電池から液がもれて火災·ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液に直接触れずによくふきとってから新しい電池を入れてください。また万一、液が皮膚や衣服についた時は、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入った時は、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。

禁止

●充電・加熱・分解・ショートしたり、水や火の中に入れない
電池の破裂、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

保守・点検について

注意

●お手入れの際は安全のために、電源プラグをコンセントから外してから行ってください
感電の原因となることがあります。

末永くお使いいただくために

動作中は移動させない

●電源オン時に本製品を移動させないでください。ディスク再生中はディスクが高速回転しているために、ディスクを傷つける恐れがありますので特にご注意ください。

電源オン時に電源プラグを絶対に抜かない

●電源オン時に電源ケーブルを外してしまうと本製品が故障したり、ディスクを破損したりする恐れがあります。本製品の動作中には電源ケーブルを外さないでください。外す前には必ず電源をオフにしてください。

設置場所についてのご注意

●水平で安定した場所を選んで設置してください。ぐらぐらする机や、傾いている所など不安定な場所には設置しないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。
●本製品を設置する場所は、本製品の重さに十分に耐えられることを確認してください。
●本製品が落下した場合にケガの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
●テレビやカラーモニターの上に本製品を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
●本製品をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本製品を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一このような症状が発生した場合は、テレビやラジオ、ビデオからできるだけ離してください。
●次のような場所への設置は避けてください。
・直射日光のあたる所
・湿気の多い所や風通しの悪い所
・極端に暑い所や寒い所、急激な温度変化のある場所
・振動のある所
・ほこりの多い所
・油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

上に物をのせない

●本製品の上に物をのせないでください。

使わないときは電源を切っておく

●ディスクトレイからディスクを取り出し、電源をオフにしてください。
●長時間使用しないときは、電源ケーブルを外してください。
●テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本製品の電源をオンにしたままテレビやラジオを点けると画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本製品の電源をオフにしてください。

本製品を移動する場合のご注意

●本製品を移動したり梱包したりする場合は、必ずディスクトレイからディスクを取り出し、閉じてください。ディスクをディスクトレイに入れたまま移動しますと、故障の原因となります。

再生するときの制約

●この取扱説明書は、本製品の基本的な操作の仕方を説明しています。ブルーレイディスク、DVD ビデオディスク、ビデオ CD は、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本製品はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

●ボタン操作中にテレビ画面に「 ⊘ 」と表示されることがあります。「 ⊘ 」と表示されたときは、本製品もしくはディスクがその操作に対応しておりません。

その他のご注意

●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。

●ゴムやビニール製品を長時間触れさせることは、キャビネットを傷めますので避けてください。変色したり、印刷、塗装がはげるなどの原因となります。

●長時間ご使用になっていると、本製品が多少熱くなりますが故障ではありません。

製品のお手入れについて

●キャビネットや操作パネル部分のよごれは、柔らかい布でからぶきしてください。

●よごれがひどい場合は、柔らかい布を水で5～6倍に薄めた中性洗剤に浸して、よく絞ってからよごれをふきとり、その後乾いた布でからぶきしてください。

●アルコール、シンナー、ベンジンなどは絶対に使用しないでください。変色したり、印刷･塗装がはげるなどの原因となります。

●化学ぞうきんをお使いの場合は、化学ぞうきんに添付の注意事項をよくお読みください。

●お手入れの際は、電源ケーブルを外してください。

結露について

結露はディスクや本製品を傷めます。よくお読みください。

冬季などに本製品を寒い所から暖かい室内に持ち込んだり、本製品を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やピックアップレンズ）に水滴がつきます（結露）。結露したままでは本製品は正常に動作しません。結露の状態にもよりますが、電源ケーブルを外した状態で数時間放置し、完全に乾燥するまで待ってから電源をオンにしてください。また、夏でも、エアコンなどの風が本製品に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は、本製品の設置場所を変えてください。

結露は以下のような場合に発生します。
・本製品を寒いところから急に暖かいところに移動したとき。
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき。
・夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき。
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき。

結露がおこりそうなときは、本製品をご使用にならないでください。
・結露がおきた状態で本製品をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。
●ディスク、ファイルなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。

使用できるディスク

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

ディスク	マーク		内容
Blu-ray Disc			・12cm ・リージョンコードが A および ABC ・映像方式：NTSC
BD-R/RE BD-R DL/RE DL			・12cm ※ディスクによって再生できない場合があります。
DVD ビデオディスク			・12 cm / 8 cm ・リージョンコードが2および ALL ・映像方式：NTSC
DVD-R/RW DVD-R DL			・12 cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
DVD+R/RW DVD+R DL			・12 cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。
ビデオ CD			・12 cm / 8 cm ・映像方式：NTSC ・バージョン 1.0 / 2.0
オーディオ CD			・12 cm / 8 cm
CD-R CD-RW			・12 cm ※ディスクによっては再生できない場合があります。

●ディスクにマークがあっても、データの作り方やディスクの状態によって、再生ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

再生できるディスクについて

●本製品は、日本のテレビ方式（NTSC）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
●市販されているディスクでも再生できないことがあります。

再生できないディスクの種類

●リージョンコードが「A」または「ABC」以外のブルーレイディスク
●リージョンコードが「2」または「ALL」以外の DVD ビデオディスク
●DVD オーディオ、DVD-RAM など、使用できるディスクに記載のない規格のもの。
●フォト CD、CD-G、CD-ROM、CD-EXTRA のデータなど。

記録形ディスクの再生について

●本製品が対応している記録形ディスクであっても、データの記録状態によって再生できない場合があります。
●ファイナライズしていないディスクを再生することはできません。

著作権保護機能 (CPRM) のついたディスクの再生について

●著作権保護機能「CPRM(Content Protection for Recordable Media)」対応のディスクに録画された、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には著作権保護のためにコピー制御信号が記録されています。本製品は CPRM の VR モード再生に対応しておりますが、記録状態によっては再生できない場合があります。

コピーコントロール機能のついたオーディオ CD の再生について

●複製制限機能（コピーコントロール機能）のついたオーディオＣＤの中には、正式なＣＤ規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本製品で再生できない場合があります。

ディスクの取り扱いかた

●再生面には手を触れないでください。

●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

●ディスクに指紋、ほこりなどのよごれが付くと、画像の乱れや音質低下、音とびの原因となったり、再生できなくなります。このようなときは、柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭いてください。

●よごれがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってからよごれを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取ってください。

●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。

●アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは使用できません。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。

●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。

●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると、変形する原因となります。

●ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクについてのご注意

●損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

●ディスクの信号面にキズやよごれを付けないでください。

●ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってあることが多く、のりなどがはみ出している場合があり、ディスクの回転に支障が出る恐れがあります。のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

●ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

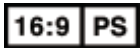
●本製品では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因となりますのでそのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

●冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると、正常に再生ができないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってからご使用ください。

ディスクに表示されるマークについて

ディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク例	内容
	記録されている音声の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などの 2 種類の音声が収録されています）
	記録されている字幕の数を示します。 （左の例は、日本語、英語などの 2 種類の字幕が収録されています）
	記録されている角度（マルチアングル）の数を示します。 （左の例は、3 種類の角度で収録されています）
	横：縦 ＝ 4：3 の標準サイズで記録されていることを示します。
	レターボックス(横：縦＝4：3 で上下に黒帯が入っている画面)で記録されていることを示します。
	横：縦 ＝ 16:9 のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4:3)のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されることを示します。
	横：縦＝16：9 のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されることを示します。

リージョンコード（地域番号）

リージョンコードについて

●ブルーレイディスクと DVD ビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンコード)が設定されています。ご使用になるディスクに表示されている地域番号(リージョンコード)と一致しないと再生できません。
本製品で再生できるディスクは以下の通りになります。

ブルーレイディスク：　地域番号（リージョンコード）は “A” です。

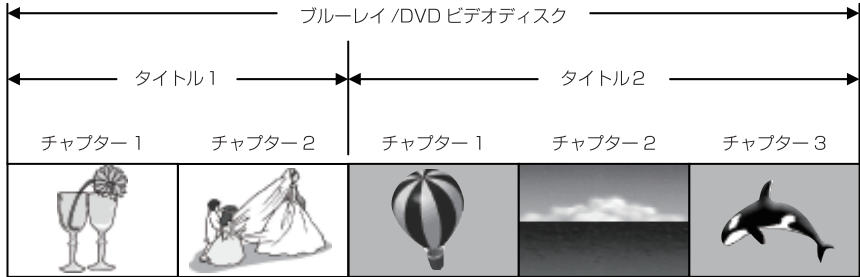
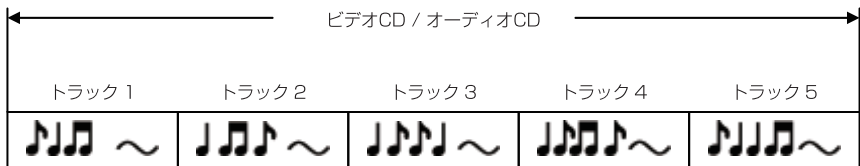
DVD ビデオディスク：　地域番号（リージョンコード）は “2” です。

著作権について

●ディスクを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル(有償、無償を問わず）することは法律により禁じられています。
●本製品は、合衆国特許権と知的所有権上保証された著作権保護技術(マクロビジョン方式)を搭載しています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他の限られた視聴用だけに使用されるようになっています。また、本製品を分解したり、改造することも禁じられています。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ディスクの内容の区分

タイトル、チャプター、トラック

ブルーレイ /DVD ビデオディスクは､｢タイトル｣という大きい区切りと､｢チャプター｣という小さい区切りに分かれています。

ビデオ CD/ オーディオ CD は、「トラック」で区切られています。

タイトル　：ディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったもの。

チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったもの。

トラック　：オーディオ CD の内容を曲ごとに区切ったもの。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには、順番に番号がふられています。
これらの番号を「タイトル番号」､「チャプター番号」､「トラック番号」といいます。

●ディスクによっては、それぞれの番号が記録されていないものもあります。

メモリの対応

本製品で対応しているメモリは次のものがあります。

・USBフラッシュメモリ（32ＭＢ～ 16GB）

●全ての USB フラッシュメモリの動作保証をするものではありません。

USB フラッシュメモリのお手入れについて

●USBフラッシュメモリの接点に指紋、ほこりなどのよごれが付くと、再生できなくなったり故障の原因となります。このようなときは、柔らかい布で軽く拭いてください。
●シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は絶対に使用しないでください。
●静電気防止剤などは使用できません。USB フラッシュメモリを傷める原因となります。

USB フラッシュメモリの保管について

●高温の場所や直射日光の当たる場所、極端に温度の低い場所を避けて保管してください。
●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所を避けて保管してください。
●USBフラッシュメモリに付属していている注意書は必ずお読みください。

本製品で USB フラッシュメモリを使用する前に

●本製品で USB フラッシュメモリを使用する前にデータのバックアップを必ず取ってください。
●弊社ではデータ消失等に関して一切の責任を負いません。

前面図 / 背面図

前面図

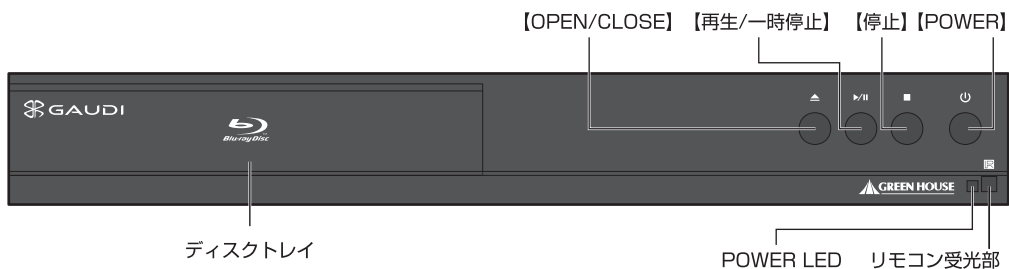
【OPEN/CLOSE】【再生/一時停止】【停止】【POWER】

GAUDI

Blu-ray Disc

GREEN HOUSE

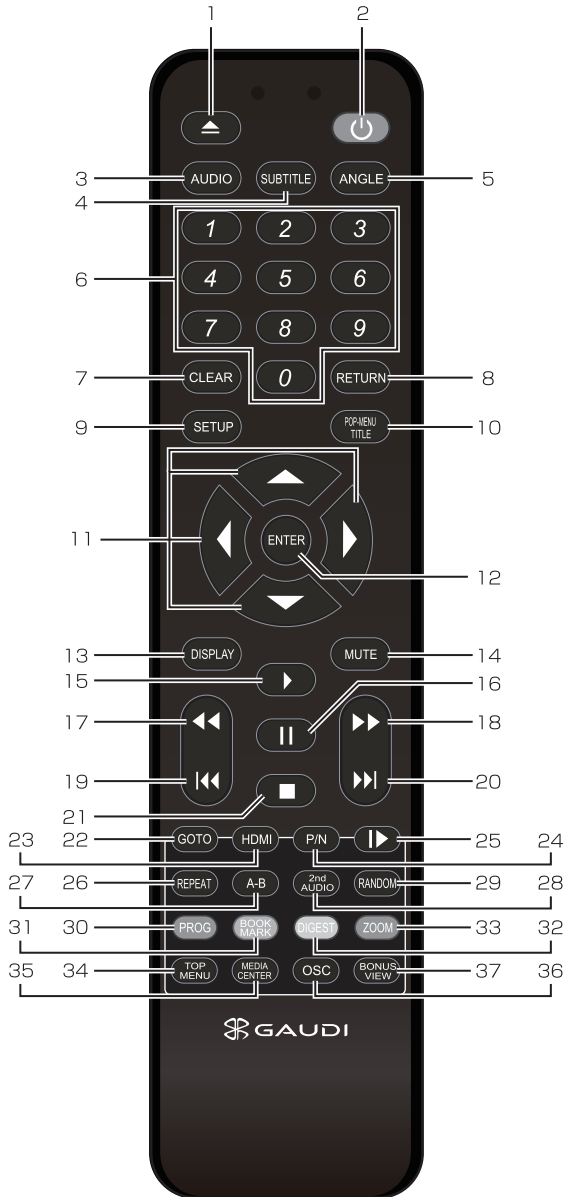
ディスクトレイ

POWER LED　リモコン受光部

●各機能はリモコンの動作内容と同等になります。

背面図

1：主電源スイッチ
2：コンポジット端子（黄、赤、白）×各1
3：コンポーネント端子（Y、Pb/Cb、Pr/Cr）×各1
4：HDMI端子
5：同軸デジタル音声端子
6：光デジタル音声端子（角形）
7：LANポート
8：USBポート

リモコン

1
2
AUDIO
SUBTITLE
ANGLE
1 2 3
4 5 6
7 8 9
CLEAR
0
RETURN
SETUP
POP-MENU
TITLE
ENTER
DISPLAY
MUTE
GOTO
HDMI
P/N
REPEAT
A-B
2nd AUDIO
RANDOM
PROG
BOOK MARK
DIGEST
ZOOM
TOP MENU
MEDIA CENTER
OSC
BONUS VIEW
GAUDI
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
23
22
25
24
27
26
29
28
31
30
33
32
35
34
37
36

1：【OPEN/CLOSE】	・・・	ディスクトレイを開き（閉じ）ます
2：【POWER】	・・・	本製品をスタンバイ状態へ移行（復帰）します
3：【AUDIO】	・・・	音声を切り替えます
4：【SUBTITLE】	・・・	字幕を表示します
5：【ANGLE】	・・・	再生中の映像アングルを切り替えます
6：テンキーボタン	・・・	入力した番号のチャプターやトラックへ移動します
7：【CLEAR】	・・・	テンキーボタンで入力した数字を消去する場合などに使用します
8：【RETURN】	・・・	メニュー上で一つ前の操作に戻るために使用します
9：【SETUP】	・・・	セットアップメニューを表示します
10：【POP-MENU TITLE】	・・・	ブルーレイディスクのポップメニューを表示します
11：カーソルボタン	・・・	カーソルの移動します
12：【ENTER】	・・・	各項目を決定します
13：【DISPLAY】	・・・	ディスクインフォメーションを表示します
14：【MUTE】	・・・	音声出力を消音にします
15：【再生】	・・・	ディスクやファイルを再生します
16：【一時停止】	・・・	再生中のディスクやファイルを一時停止します
17：【巻戻し】	・・・	再生中のディスクやファイルの巻戻しをします
18：【早送り】	・・・	再生中のディスクやファイルの早送りをします
19：【前へ】	・・・	再生中の前のチャプターやトラックの開始地点へ移動します
20：【次へ】	・・・	再生中の次のチャプターやトラックの開始地点へ移動します
21：【停止】	・・・	再生中のディスクやファイルを停止します
22：【GOTO】	・・・	再生時間、タイトル、チャプター、を指定してサーチ再生します
23：【HDMI】	・・・	HDMI の解像度を切り替えます
24：【P/N】	・・・	映像方式を切り替えます（NTSC/PAL）
25：【スロー再生】	・・・	再生中にボタンを押すとスロー再生になります
26：【REPEAT】	・・・	リピート再生します
27：【A-B】	・・・	指定区間をリピート再生します
28：【2nd AUDIO】	・・・	BONUSVIEW でプライマリー / セカンダリオーディオを切替えます
29：【RANDOM】	・・・	ランダム再生します
30：【PROG】	・・・	プログラム再生します
31：【BOOK MARK】	・・・	ブックマークを登録します
32：【DIGEST】	・・・	写真をサムネイル表示します
33：【ZOOM】	・・・	映像の拡大再生や画像の拡大表示を行います
34：【TOP MENU】	・・・	トップメニューを表示します
35：【MEDIA CENTER】	・・・	メディアセンター画面を表示します
36：【OSC】	・・・	OSC（オンスクリーンコントロール）機能が使用できます
37：【BONUSVIEW】	・・・	BONUSVIEW でピクチャインピクチャを切替えます

●上記は一例になり、実行中のモードによって動作が異なります。
●ディスクに収録されているデータの種類により上記の通り動作しない場合があります。

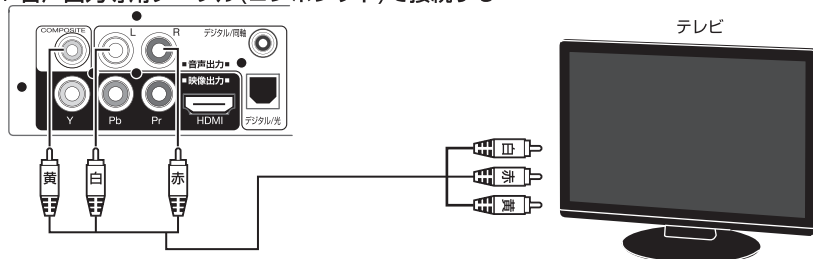
リモコンに電池を入れる

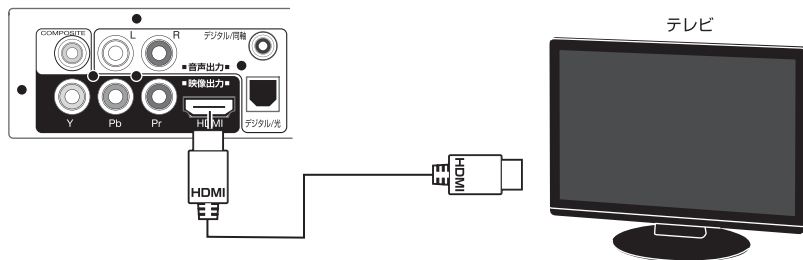
付属または市販の単 4 形乾電池 2 本をリモコンに入れます。

●新しい電池と古い電池、種類の違う電池を一緒に使わないでください。
●長期間ご使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。
●電池の「＋」「－」の極性を間違えないように装着してください。

テレビと接続する

本製品とテレビの接続方法を紹介します。

■映像 / 音声出力専用ケーブル(コンポジット)で接続する

図のように付属の映像 / 音声出力専用ケーブル (コンポジット) でテレビのビデオ入力端子に接続してください。

■HDMI ケーブルで接続する

図のように付属の HDMI ケーブルでテレビの HDMI 入力端子に接続してください。

●テレビによって画面の比率が乱れる場合がありますがご了承ください。
●上記以外の方法で接続する場合は別途ケーブルをご用意ください。また、本製品の設定変更が必要になりますので、「セットアップメニュー」（P.40）をご覧ください。

操作方法と解説について

操作方法はリモコン操作を中心に解説いたします。また、ブルーレイディスク（BD-ROM）を再生した場合の初期設定状態の操作方法を中心に解説します。DVD ビデオディスク、ビデオ CD、オーディオ CD を挿入した場合、使用できる機能や画面が一部異なる場合がありますが、操作方法は同様になりますので置き替えてご覧ください。

電源操作

本項目では電源の操作方法を紹介します。

主電源をオンにする（スタンバイモードにする）

本製品背面の主電源スイッチをオンにすると、前面の POWER LED が赤く点灯してスタンバイモードになります。

電源をオンにする

スタンバイモードより本製品前面の【POWER】ボタン、またはリモコンの【POWER】ボタンを押すと、POWER LED が青く点灯して電源がオンになり、画面に「GAUDI」の壁紙が表示されます。

●本製品の主電源がオフの状態ではリモコンの【POWER】ボタンを押しても動作しません。

電源をオフにする（スタンバイモードにする）

本製品前面の【POWER】ボタン、またはリモコンの【POWER】ボタンを再度押すと、POWER LED が赤く点灯して電源がオフ（スタンバイモード）になります。

主電源をオフにする

スタンバイモードより本製品背面の主電源スイッチをオフにすると、主電源がオフになります。

ブルーレイディスクを再生する（基本操作編）

本項目ではブルーレイディスクの基本操作方法を紹介します。

●インタラクティブ機能が使用されたブルーレイディスクや BD-J ディスクでは解説の通り動作しない場合がありますので予めご了承ください。
●レコーダーなどで録画したディスクは解説する機能が使用できない場合があります。

ディスクを再生する

1. ディスクトレイを開けます

本製品前面の【OPEN/CLOSE】ボタン、またはリモコンの【OPEN/CLOSE】ボタンを押してディスクトレイを開けます。

2. ディスクを入れます。

再生面を下にして、ディスクトレイにディスクを置きます。

3. ディスクトレイを閉めます。

本製品前面の【OPEN/CLOSE】ボタン、またはリモコンの【OPEN/CLOSE】ボタンを押してディスクトレイを閉じると、自動的に再生が開始されます。

再生を停止する

リモコンの【停止】ボタンを押すと再生が停止し、「GAUDI」のロゴ画面になります。

リモコンの停止ボタンを 1 度押した場合は画面左上に■マークが表示され、停止位置が記憶されます。ボタンを 2 度押した場合は、ディスクの先頭から再生が開始されます。

●インタラクティブ機能が使用されたブルーレイディスクや BD-J ディスクではレジューム再生は機能しません。

一時停止する

再生中にリモコンの【一時停止】ボタンを 1 度押すと一時停止します。
通常再生に戻るには【再生】ボタンを押してください。

早送り / 巻戻しする

再生中に【早送り】/【巻戻し】ボタンを押すごとに早送り / 巻戻しスピードが 5 段階で調整できます。
通常再生に戻るには【再生】ボタンを押してください。

●早送り / 巻戻し再生中は音声出力されません。
●ディスクによっては、ボタンを押してから動作するまで時間がかかる場合があります。

前後のチャプターへ移動する

再生中にリモコンの【次へ】/【前へ】ボタンを押すと、前後のチャプターに移動できます。

消音にする

消音にするにはリモコンの【MUTE】ボタンを押してください。
消音状態を解除するにはもう 1 度【MUTE】ボタンを押してください。

トップメニュー / ポップメニュー画面を表示する

トップメニュー画面やポップメニュー画面が記録されているディスクでは、各画面からチャプターを選んで再生や、音声や字幕の設定ができるものがあります。

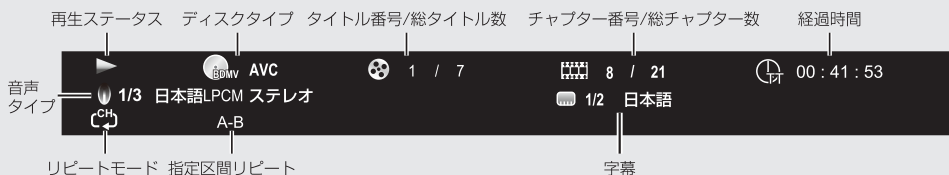
リモコンの【TOP MENU】/【POP-MENU TITLE】ボタンを押します。ディスクに収録されたメニュー画面が表示されます。

リモコンのカーソルボタンで再生したい項目や、設定したい項目を選びます。

リモコンの【ENTER】ボタンを押して選択した項目を決定します。

ブルーレイディスクを再生する（応用操作編）

本項目ではブルーレイディスクの応用操作方法を紹介します。

ディスク情報を表示する

音声を切り替える

再生中にリモコンの【AUDIO】ボタンを押すごとにディスクに収録されている音声を切り替えられます。

字幕を切り替える

SUBTITLE

再生中にリモコンの【SUBTITLE】ボタンを押すごとにディスクに収録されている字幕を切り替えられます。

アングルを切り替える

再生中にリモコンの【ANGLE】ボタンを押すごとにディスクに収録されているアングルを切り替えられます。

スロー再生する

再生中にリモコンの【スロー再生】ボタンを押すごとに「1/16」「1/8」「1/8」「1/4」「1/2」と再生速度を変更できます。
通常再生に戻るには【再生】ボタンを押してください。

コマ送り再生する

再生中にリモコンの【一時停止】ボタンを押します。

一時停止中にリモコンの【スロー再生】ボタンを押すごとにコマ送り再生されます。
通常再生に戻るには【再生】ボタンを押してください。

リピート再生する

再生中にリモコンの【REPEAT】ボタンを押すごとに以下のリピートモードを切り替えできます。

チャプター	・・・	現在のチャプターを繰り返し再生します。
タイトル	・・・	現在のタイトルを繰り返し再生します。
（非表示）	・・・	通常再生に戻ります。

指定区間をリピート再生する

ご覧になりたい 2 点間を指定して繰り返し再生できます。

再生中に開始位置に指定したい場面でリモコンの【A-B】ボタンを押します。画面左上に「A-」と表示され開始位置が指定されます。

「A-」と表示されている状態で終了位置に指定したい場面でもう 1 度【A-B】ボタンを押します。「A-B」と表示が切り替わり、指定区間がリピート再生されます。
通常再生に戻るには「A-B」と表示されている状態で、もう 1 度【A-B】ボタンを押してください。

サーチ再生する

ご覧になりたい時間を指定して再生できます。

再生中にリモコンの【GOTO】ボタンを押します。

「ディスク情報」画面が表示され、「経過時間」の項目にカーソルが移動します。

リモコンのカーソルボタンの【上】/【下】でタイトル / チャプターが選択できます。

00 : 00 : 00
タイトル
チャプター

リモコンの【ENTER】ボタンを押すと、右のように表示が切り替わり、テンキーボタンで時間を入力できます。
リモコンカーソルボタンの【左】/【右】で「時 : 分 : 秒」が移動できます。
入力した時間を消去するには【CLEAR】ボタンを押してください

時 : 分 : 秒

時間を入力した後にもう 1 度リモコンの【ENTER】ボタンを押すと指定した時間から再生されます。

●ディスクの収録時間外の数字は入力できません。

ブックマーク機能を使用する

ご覧になりたい地点を登録して再生できます。

■ブックマーク地点を登録する

再生中に地点登録したい場面でリモコンの【BOOK MARK】ボタンを押します。
ボタンを押すごとに以下のように表示され、最大 12 地点の登録ができます。

ﾌﾞｯｸﾏｰｸ: 1/12 ﾀｲﾄﾙ: 1 ﾁｬﾌﾟﾀｰ: 18 時間: 00:57:02

現在のブックマーク数 / 最大ブックマーク数

■ブックマーク地点を呼び出す

再生中にリモコンの【BOOK MARK】ボタンを 3 秒程長押しすると以下のように表示されます。

ブックマーク番号

再生中にリモコンのカーソルボタンで再生したブックマーク番号を選択し、【ENTER】ボタンを押すと再生されます。
削除するには【CLEAR】ボタンを押してください。
もう 1 度【BOOK MARK】ボタンを押すと非表示になります。

●ブックマーク画面を表示中は再生は停止されます。
●ブックマーク地点は再生を停止すると消去されます。

ズーム再生する

再生中にリモコンの【ZOOM】ボタンを押すと表示を拡大して再生できます。
「2×」「3×」「4×」「1/2」「1/3」「1/4」が選択できます。
拡大再生中はカーソルボタンで表示位置を移動できます。

OSC（オンスクリーンコントロール）機能を使用する

OSC

再生中にリモコンの【OSC】ボタンを押すと以下のように表示され、各機能が使用できます。
カーソルボタンで項目を移動し、【ENTER】ボタンで変更できます。

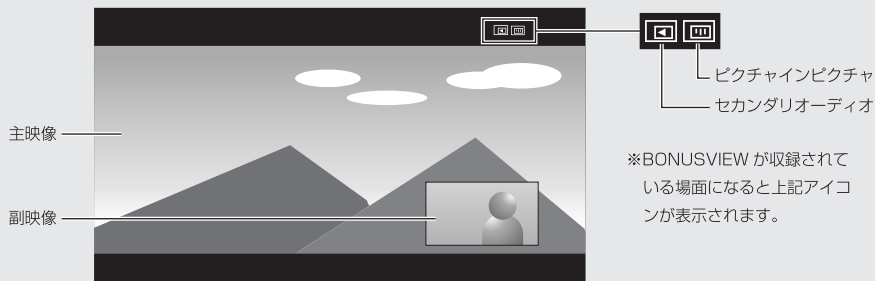
●ディスクに収録されていない項目は切り替えできません。

BONUSVIEW を視聴する

BONUSVIEW が収録されたディスクを使用すると､｢ピクチャインピクチャ｣や｢セカンダリオーディオ｣などを視聴できます。

再生中にリモコンの【BONUS VIEW】ボタンを押すと「ピクチャインピクチャ」画面が表示されます。
表示をオフにするにはもう 1 度ボタンを押してください。

再生中にリモコンの【2nd AUDIO】ボタンを押すと「セカンダリオーディオ」が再生されます。
元の音声出力に戻すにはもう 1 度ボタンを押してください。

※BONUSVIEW が収録されている場面になると上記アイコンが表示されます。

●BONUSVIEW が収録されていないシーンでは視聴できません。
●ディスクによってトップメニューから BONUSVIEW を選択する場合があります。

BD-LIVE を視聴する

BD-LIVE が収録されたディスクを使用すると、インターネットに接続して、新しい映画の予告編や映画出演者のコメントなどを視聴できます。

■準備

1. 本製品を LAN ケーブルでネットワークに接続します。
2. セットアップメニューの「ネットワーク」（P.38）を設定します。
3. USB フラッシュメモリ（1GB 以上推奨）を用意し、本製品の USB ポートに挿入してください。

■視聴する

ブルーレイディスクのメニューにしたがって、BD-LIVE に接続してください。

USB フラッシュメモリについて

●USB フラッシュメモリはコンピュータであらかじめフォーマット（FAT32）してください。
●安全のため、BD-LIVE で使用する USB フラッシュメモリには他のデータは入れないでください。
●BD-LIVE のダウンロード先は USB フラッシュメモリ内の「BUDA」のフォルダになります。
●BD-LIVE 視聴中に USB フラッシュメモリを取り外さないでください。
●弊社ではデータの消失などに関して一切の責任を負いません。

インターネット接続について

●インターネット回線状況によりダウンロードに数分かかる場合があります。
●ディスクによって BD-LIVE 機能が使用できない場合があります。
●本製品は工場出荷値で IP アドレスを自動取得（DHCP）する設定になっています。ご使用中のルーター設定が DHCP の場合、本製品は IP アドレスを自動取得します。（全てを保証するものではありません。）

DVD ビデオディスクを再生する

本項目では DVD ビデオディスクの操作方法を紹介します。

●DVD ビデオディスクを再生したときの操作方法を中心に解説します。
●操作方法はブルーレイディスク再生時と同等になります。
　操作方法、機能の詳細はブルーレイディスクを参考にしてください。
●DVD ビデオディスクの種類やレコーダーなどで録画した CPRM ディスクは解説する機能が使用できない場合があります。

機能一覧

DVD ビデオ再生時の機能一覧は以下の通りになります。

ボタン	機能
▶	再生します。
■	再生を停止します。1 回押した場合は停止位置が記憶されます。2 回押した場合はディスクの先頭から再生されます。
II	再生を一時停止します。
◀◀ ▶▶	ボタンを押すごとに早送り / 巻戻しスピードが 5 段階で調整できます。
I◀◀ ▶▶I	前後のチャプターに移動します。
MUTE	消音にします
TOP MENU	DVD ビデオディスクのタイトルメニューを表示します。
DISPLAY	ディスク情報を表示します。
AUDIO	ディスクに収録されている音声を切り替えます。
SUBTITLE	ディスクに収録されている字幕を切り替えます。
ANGLE	ディスクに収録されているアングルを切り替えます。
I▶	スロー再生します。
II ➡ I▶	ボタンを押すごとにコマ送り再生します。
REPEAT	ボタンを押すごとに「CH」: チャプターリピート /「TT」: タイトルリピート /「All」: オールリピートが選択できます。
RANDOM	ボタンを押すごとに「CH ランダム」: チャプターランダム /「TT ランダム」: タイトルランダム /「All ランダム」: オールランダムが選択できます。
A-B	指定区間をリピート再生します。
GOTO	時間指定してサーチ再生します。
BOOK MARK	ご覧になりたい地点を登録して再生します。
ZOOM	拡大表示して再生します。
OSC	OSC（オンスクリーンコントロール）機能が使用できます。（表示内容は「ブルーレイディスクを再生する」(P.29) を参考にしてください。）

PROG

タイトル / チャプターをプログラムリストに登録して再生できます。
再生中にリモコンの【PROG】ボタンを押すと以下のような画面が開きます。

プログラムリストを再生します　プログラムリストを削除します　プログラムリスト画面を閉じます

■プログラムリストに登録する

リモコンの【ENTER】ボタンを押します。

左図のように表示が切り替わりますので、リモコンのカーソルボタンの【上】/【下】で数字を入力して【左】/【右】でタイトル / チャプターが選択できます。

リモコンの【ENTER】ボタンを押すと確定され、次項のリストへカーソルが移動します。

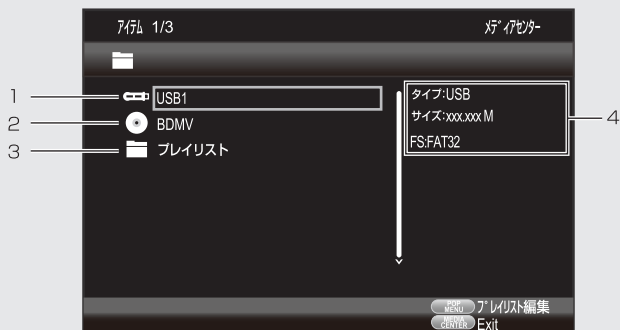
リモコンの【再生】ボタンを押すとプログラムリストに登録した順に再生されます。

●ディスクによって正常に動作しない場合があります。
●CPRM で記録されたディスクは記録状態により異なりますので動作保証外となります。

メディアセンターを使用する

本項目では動画ファイル / 音楽ファイル / 画像ファイルを再生するメディアセンターの操作方法を紹介します。

メディアセンターを開く

背面の USB ポートに USB フラッシュメモリを挿入し、「GAUDI」の待機画面が表示されている状態で、リモコンの【MEDIA CENTER】ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

1　・・・　USB フラッシュメモリのデータを読み込みます。
2　・・・　ディスクトレイに挿入されたディスクを読み込みます。
3　・・・　プレイリスト登録されたファイルを表示します。
4　・・・　カーソルで選択されている項目の情報が表示されます。

■操作方法

項目やフォルダを確定して開きます。

項目やフォルダ　/　ファイルを選択します。

1 つ前のフォルダ階層に戻ります。

再生するファイルの種類を選択する

USB フラッシュメモリを選択して開くと以下のように表示されます。

1　・・・　タイトル番号　/　総タイトル番号を表示します。
2　・・・　現在のフォルダ階層を表示します。
3　・・・　1 つ前の階層に戻ります。
4　・・・　写真ファイルを表示します。
5　・・・　音楽ファイルを表示します。
6　・・・　動画ファイルを表示します。
7　・・・　AVCHD ファイルを表示します。

●4 ～ 7 は USB フラッシュメモリに記録されているフォルダではなく、ファイル種類を分類するために本製品が自動表示しています。写真フォルダよりフォルダ階層に入ると、画像ファイル以外は表示されません。

動画ファイルを再生する

フルスクリーンで再生します。

1 回押すと再生を停止して、「GAUDI」画面になります。（停止した位置が記憶されます。）
2 回押すと停止位置情報が消去され、メディアセンター画面に戻ります。

再生を一時停止します。

ボタンを押すごとに早送り　/　巻戻しスピードが 5 段階で調整できます。

前後のファイルに移動します。

MUTE　消音にします

DISPLAY　ファイル情報を表示します。

再生速度を変えてスロー再生します。

ボタンを押すごとにコマ送り再生します。

REPEAT　シングルリピート / オールリピート / 通常再生が選択できます。

RANDOM　ランダム再生ができます。

A-B　指定区間をリピート再生します。

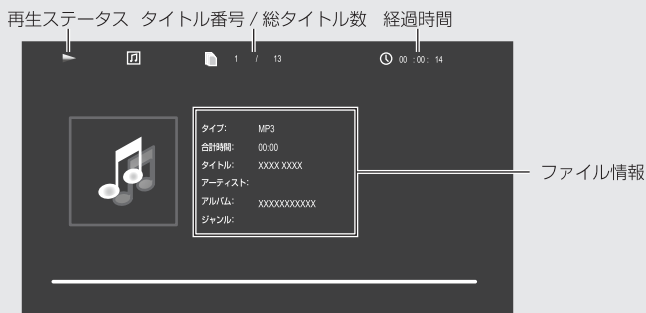
GOTO　時間指定してサーチ再生します。

ZOOM　拡大表示して再生します。

BOOK MARK　ご覧になりたい地点を登録して再生します。

OSC　OSC（オンスクリーンコントロール）機能が使用できます。
（表示内容は「ブルーレイディスクを再生する」(P.29) を参考にしてください。）

音楽ファイルを再生する

メディアセンター画面で音楽ファイルを選択してリモコンの【再生】ボタンを押すと以下のような音楽ファイル再生画面に切り替わります。

ボタン	説明
▶	再生します。
■	1 回押すと音楽ファイル再生画面で停止します。（停止した位置が記憶されます。） 2 回押すと停止位置情報が消去され、メディアセンター画面に戻ります。
❚❚	再生を一時停止します。
◀◀ ▶▶	ボタンを押すごとに早送り / 巻戻しスピードが 5 段階で調整できます。
⏮ ⏭	前後のファイルに移動します。
MUTE	消音にします
DISPLAY	音楽ファイル再生画面の表示のオン / オフが切り替えられます。 （オフ時は「GAUDI」画面が表示されます。）
REPEAT	シングルリピート / オールリピート / 通常再生が選択できます。
RANDOM	ランダム再生ができます。
A-B	指定区間をリピート再生します。
GOTO	時間指定してサーチ再生します。
OSC	OSC（オンスクリーンコントロール）機能が使用できます。 （表示内容は「ブルーレイディスクを再生する」(P.29) を参考にしてください。）

画像ファイルを表示する

スライドショー再生します。

スライドショー再生が停止し、メディアセンター画面に戻ります。

スライドショー再生を一時停止します。

スライドショーの切り替わる速度を調整できます。
ボタンを押すごとに Slow / Middle / Fast が選択できます。

前後のファイルに移動します。

【上】：上下反転表示します。
【下】：左右反転表示します。
【左】：反時計回りに回転します。
【右】：時計回りに回転します。

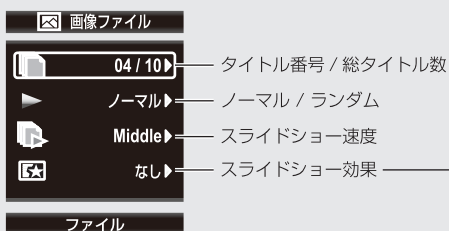
DISPLAY スライドショー情報が表示されます。（再生ステータス / ファイル数 / リピートモード / スライドショー速度）

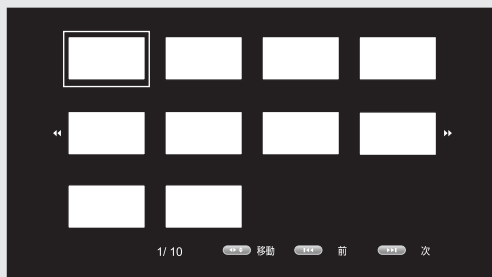
REPEAT シングルリピート / オールリピート / 通常再生が選択できます。

GOTO ファイル番号を指定してスライドショー再生します。

RANDOM ランダムスライドショー再生します。

ZOOM 拡大表示して表示します。（拡大表示中はスライドショー再生は一時停止されます。）

OSC OSC（オンスクリーンコントロール）機能が使用できます。

スライドショー効果は【ENTER】ボタンを押すと以下が選択できます。
（ワイプ左 / ワイプ右 / ワイプ上 / ワイプ下　/ ボックスイン / ボックスアウト / ブレンド / ディソルブ / インターレース H　/ インターレース V　/ スプリットイン H / スプリットイン V / スプリットアウト H / スプリットアウト V / なし

DIGEST 以下のようにサムネイル表示（縮小一覧表示）されます。

リモコンのカーソルボタンで画像ファイルを選択して、【ENTER】ボタンを押すとスライドショー再生されます。
【DIGEST】ボタンを押すとサムネイル表示に戻り、【停止】ボタンを押すとメディアセンター画面になります。

セットアップメニュー画面の操作

本製品の設定を変更するにはセットアップメニュー画面で設定します。

リモコンの【SETUP】ボタンを押すと以下のように表示されます。リモコンのカーソルボタンの【左】/【右】で「基本設定」「映像設定」「オーディオ設定」」が選択できます。(●印は工場出荷値の設定になります)

基本設定

<table>
<tr><th>1 階層</th><th>2 階層</th><th>3 階層</th><th>解説</th></tr>
<tr><td rowspan="10">システム</td><td rowspan="2">スクリーンセーバー</td><td>ON●</td><td rowspan="2">1</td></tr>
<tr><td>OFF</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自動再生</td><td>ON●</td><td rowspan="2">2</td></tr>
<tr><td>OFF</td></tr>
<tr><td>設定初期化</td><td></td><td>3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アップグレード</td><td>ディスク</td><td rowspan="2">4</td></tr>
<tr><td>USB ストレージ</td></tr>
<tr><td>簡単設定</td><td></td><td>5</td></tr>
<tr><td>BUDA</td><td>情報</td><td>6</td></tr>
<tr><td colspan="3" style="display:none"></td></tr>
<tr><td rowspan="9">言語</td><td rowspan="2">OSD</td><td>English</td><td rowspan="2">7</td></tr>
<tr><td>日本語●</td></tr>
<tr><td rowspan="2">メニュー</td><td>English</td><td rowspan="2">8</td></tr>
<tr><td>日本語●</td></tr>
<tr><td rowspan="2">オーディオ</td><td>English</td><td rowspan="2">9</td></tr>
<tr><td>日本語●</td></tr>
<tr><td rowspan="3">字幕</td><td>English</td><td rowspan="3">10</td></tr>
<tr><td>日本語●</td></tr>
<tr><td>OFF</td></tr>
</table>

1 ・・・ スクリーンセーバーの設定ができます。
2 ・・・ 自動再生の設定ができます。
3 ・・・ 本製品の設定を工場出荷値へ戻します。
4 ・・・ ※管理用となります。通常は使用しません。
5 ・・・ 本製品の基本的な設定がウィザード画面で行えます。
6 ・・・ USB フラッシュメモリの空き容量と BD-LIVE で使用する「BUDA」フォルダ内のデータ消去が行えます。
7 ・・・ OSD 言語が設定できます。
8 ・・・ ディスクのメニュー言語が設定できます。
9 ・・・ ディスクのオーディオが設定できます。
10 ・・・ ディスクの字幕言語が設定できます。

次のページへ

前のページから

1 階層	2 階層	3 階層	解説
プレイバック	アングルマーク	ON●	11
		OFF	
	PIP マーク	ON●	12
		OFF	
	第二音声マーク	ON●	13
		OFF	
	ラストメモリー	ON●	14
		OFF	
	PBC	ON●	15
		OFF	
セキュリティー	パスワード変更		16
	パレンタルコントロール		17
	国別コード		18
ネットワーク	インターネット接続	有効にする●	19
		使用不可	
	情報		20
	接続テスト		21
	IP 設定	オート●	22
		マニュアル	
	BD-LIVE コネクション	許可●	23
		部分的に許可	
		禁止	
	プロキシポート変更	使用不可●	24
		有効にする	
		プロキシホスト	
		プロキシポート	

11 ・・・ ディスク再生中のアングルマーク表示の有無が設定できます。
12 ・・・ ディスク再生中の PIP（ピクチャインピクチャ）マークの表示の有無が設定できます。
13 ・・・ ディスク再生中のセカンダリオーディオマークの表示の有無が設定できます。
14 ・・・ ラストメモリー機能の有無が設定できます。
15 ・・・ ビデオ CD の PBC（プレイバックコントロール）機能の有無が設定できます。
16 ・・・ パスワードを変更します。
17 ・・・ 視聴制限が設定できます。（パスワード入力が必要です。）
18 ・・・ 視聴制限基準の地域を設定できます。（パスワード入力が必要です。工場出荷値は「日本」です。）
19 ・・・ インターネット接続の有効 / 無効が設定できます。
20 ・・・ 本製品の IP アドレスが表示されます。
21 ・・・ 接続テストが行えます。
22 ・・・ IP アドレスの取得がオートかマニュアルか設定できます。
23 ・・・ BD-LIVE のインターネット接続を制限できます。
24 ・・・ インターネット接続時にプロキシサーバーを使用するか設定できます。

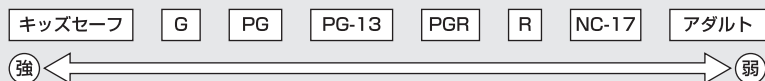
■操作方法

以下のようにパスワードが変更できます。リモコンのテンキーボタンで入力します。

工場出荷値は「0000」になります。

確認のため、同じパスワードを 2 回入力します。

■「パレンタルコントロール」について

「OFF」「キッズセーフ」「G」「PG」「PG-13」「PGR」「R」「NC-17」「アダルト」が選択できます。
視聴制限の強弱は下記のようになります。

■「IP 設定」について

ご使用されているルーター等が DHCP に設定されていると、本製品は IP アドレスを自動取得します。手動で設定する場合は「マニュアル」を選択し、以下のような画面で設定を行います。

カーソル移動　:　【左】/【右】ボタン
数値入力　:　テンキーボタン
数値クリア　:　【CLEAR】ボタン
確定　:　【ENTER】ボタン
戻る　:　【RETURN】ボタン

映像設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
TV	TV スクリーン	16：9 フル●	1
		16：9 ノーマル	
		4：3 パンスキャン	
		4：3 レターボックス	
	解像度	オート	2
		480I/576I●	
		480P/576P	
		720P	
		1080I	
		1080P	
	TV システム	NTSC●	3
		PAL	
	色空間	RGB●	4
		YCbCr	
		YCbCr422	
		Full RGB	
	HDMI Deep Color	30bit	5
		36bit	
		48bit	
		OFF●	
	HDMI 1080P 24Hz	ON	6
		OFF●	
映像処理	映像調整		7
	シャープネス	High	8
		Middle●	
		Low	

1 ・・・ 映像の画面比率を設定できます。
2 ・・・ ご使用のテレビに合わせて解像度が設定できます。
3 ・・・ テレビシステムを設定できます。（日本は「NTSC」になります。）
4 ・・・ 色空間が設定できます。
5 ・・・ HDMI ディープカラーが設定できます。
6 ・・・ 1920×1080/24P 対応テレビと HDMI 接続している場合にオンに設定します。
7 ・・・ 「明るさ」「コントラスト」「色相」「彩度」が設定できます。
8 ・・・ 映像のシャープネスが設定できます。

■「映像調整」について

数値変更　：　【左】/【右】ボタン
項目移動　：　【上】/【下】ボタン
確定　：　【ENTER】ボタン
戻る　：　【RETURN】ボタン

オーディオ設定

1 階層	2 階層	3 階層	解説
オーディオ出力	SPDIF	ビットストリーム	1
		PCM●	
		OFF	
	HDMI	ビットストリーム	2
		PCM●	
		OFF	
	ダウンサンプリング	48k●	3
		96k	
		192k	
	DRC	OFF●	4
		ON	
		オート	

1・・・ ドルビーデジタルや DTS サラウンド対応のアンプにデジタル同軸ケーブル / 光デジタルケーブルで接続している時に使用できます。

2・・・ ドルビーデジタルや DTS サラウンド対応のアンプにデジタル HDMI ケーブルで接続している時に使用できます。

3・・・ 本製品が HDMI ケーブルでアンプと接続されている時に対応しているサンプリングレートに設定するための機能になります。

4・・・ 音声のダイナミックレンジ（最大の音と最小の音との差）を圧縮し、小音量時でも音を聞き取りやすくします。AUTO は音量によって自動調整します。
（本機能はドルビー音声再生時のみ効果があります。）

■「ビットストリーム」「PCM」について

ビットストリーム ： オリジナルのビットストリーム音声信号を出力します。

PCM ： 全ての音声がリニア PCM に変換され音声出力されます。

システムインフォメーション

本製品のソフトウェアバージョンと MAC アドレスが表示されます。

故障かな？と思ったら

電源が入らない	●電源をコンセントへしっかりと差し込み、【POWER】ボタンを入れなおしてください。(P24)
リモコンがきかない	●本製品の主電源をオンにしてください。(P24) ●電池の＋、－の向きを確認してください。(P23) ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P23) ●リモコンを本製品のリモコン受光部に向けて操作してください。 ●リモコンとリモコン受光部の間の障害物を取り除いてください。
映像が映らない	●本製品の「映像出力」設定と実際の接続方法が合っているか確認してください。（P.40） ●ケーブルを接続しなおして映像が表示されるかご確認ください。 ●映像ケーブルが破損していないかご確認ください。 ●アンプ経由でテレビに接続されている場合は、アンプ側の入力や操作が適切かどうか確認してください。 ●テレビ側の外部入力モードの切替えなど、操作が適切かどうか確認してください。
再生できない	●本製品で再生できるディスクか確認してください。(P.13) ●記録型のブルーレイディスクやDVD、CDは、記録状態により再生できない場合があります。 ●リージョン番号を確認してください。本製品のリージョン番号は、ブルーレイディスクは「A」、DVDディスクは「2」です。 ●レコーダーで録画されたディスクを再生するときは、正しくファイナライズされているか確認してください。ファイナライズの方法はレコーダーメーカーに、お問い合わせください。 ●視聴制限が設定されていないか確認してください。 ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●ディスクはラベル面を上に正しくセットしてください。 ●ディスクがトレイに正しくセットされているか確認してください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露が付くことがあります。1～2時間放置してください。
映像が白黒になる	●ディスクの映像タイプを確認してください。 ●「TVシステム」(P.40)がNTSCか確認してください。
映像が乱れる	●「解像度」（P.40）の設定を確認してください。 ●ディスクが汚れている場合は、きれいにふいてください。 ●サーチ再生中は多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。 ●「TVシステム」(P.40)がNTSCか確認してください。

音声が出ない	●テレビ側の音量を確認してください。 ●本製品を消音状態にしていないか確認してください。 ●スロー再生 / 早送り / 巻戻し再生中は音声が出力されません。 ●ケーブルを接続しなおして音声が出力されるかご確認ください。 ●音声ケーブルが破損していないかご確認ください。 ●セットアップメニューの「オーディオ出力」(P.41)の設定で「HDMI」「SPDIF」ともにOFFになっていないかご確認してください。 ●対応していない音声が記録されているディスクでは、音声が出力されません。
HDMI接続したとき映像や音声が出力されない	●本製品やテレビの電源を入れなおしてください。 ●HDMIケーブルを挿しなおしてください。 ●「解像度」(P.40)を確認してください。 ●「オーディオ出力」(P.41)を確認してください。 ●アンプ経由でテレビに接続されている場合は、アンプ側の入力や操作が適切かどうか確認してください。
字幕言語が切り替えられない	●字幕の入っていないディスクでは切り替えできません。 ●【SUBTITLE】ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。
アングルを変えて見ることができない	●複数のアングルの入っていないディスクでは切り替えできません。 ●複数のアングルが記録されている場面でのみ切り替えできます。
音声言語が切り替えられない	●複数の音声の入っていないディスクでは切り替えできません。 ●【AUDIO】ボタンで切り替えられないディスクの場合、ディスクのメニュー画面などで切り替えできる場合があります。
動画ファイルや音楽ファイルが再生できない	●対応形式であっても再生できない場合はエンコードソフトを変えて試してください。なお、変換方法についてはサポート対象外になりますのでご了承ください。
BD-LIVEが動作しない	●LANケーブルを奥までしっかりと差し込んでください。 ●空き容量が1GB以上あるUSBフラッシメモリを用意してください。 ●セットアップの「ネットワーク」→「接続テスト」で、「ネットワークOK」と表示されるか確認してください。(P.38) ●セットアップメニューの「ネットワーク」→「BD-LIVEコネクション」の設定で、「許可」または「部分的に許可」が選択されていることを確認してください。(P.38) ●USBフラッシュメモリが書き込み禁止でないか確認してください。
すべての設定を初期設定に戻したい	●セットアップメニューの「設定初期化」を選択し、工場出荷値の設定に戻してください。(P.37)

仕様

製品型番	GHV-BD110K
再生対応ディスク	BD-ROM / BD-R / BD-RE / BD-R DL / BD-RE DL DVDビデオ/ DVD±R / DVD±RW / DVD±R DL CD / VCD / CD-R / CD-RW
CPRM再生対応ディスク	DVD-R / DVD-RW / DVD-R DL
再生可能メモリカード	USBフラッシュメモリ(32MB～16GB)
再生可能フォーマット	動画: MPEG1 / MPEG2 / MPEG4-AVC / VC-1 / WMV / MPEG4 / AVCHD 画像: JPEG / GIF / PNG 音楽: MP3 / WMA
対応BDプロファイル	1.1(BONUSVIEW) 2.0(BD-LIVE)
映像出力方式	1080p / 1080i / 720p / 480p / 480i
信号方式	NTSC/PAL
音声周波数特性	20Hz～20kHz
S/N比	90dB以上
ダイナミックレンジ	80dB以上
搭載出力端子	HDMI端子×1 コンポーネント映像端子(Y、Pb/Cb、Pr/Cr)×各1 コンポジット端子(黄、赤、白)×各1 光デジタル音声端子(角形)×1 同軸デジタル音声端子×1
搭載入力端子	USBポート×1 LAN端子×1
電源	AC 100-240V 50/60Hz (本体に直結)
消費電力	15W
動作温度範囲	0℃ ～ 45℃
動作湿度範囲	30% ～ 70%(結露なきこと)
外形寸法	W328mm × D275mm × H48mm (突起部含まず)
重量	約2.0kg(本体のみ)

●日本国外で使用された場合はサポート対象外となります。
●仕様および本製品のデザインは、改良のため予告なしに変更することがあります。

製品構成

●GHV-BD110K（本体）	1台
●専用リモコン	1個
●HDMIケーブル	1本
●映像/音声出力専用ケーブル(コンポジット)	1本
●単4形乾電池（リモコン用）	2本
●取扱説明書（本書）	1部
●１年間保証書	1枚

故障修理について

故障・修理についてのお問合せは、下記のサポート窓口にてご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス　テクニカルサポート
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/
サポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00 （弊社営業日のみ）
FAX	03-5421-2266（24 時間受付）
住所	〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階

※テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なく変更する場合があります。ご確認はホームページにてお願いいたします。
※サポートを受けるためにはユーザー登録が必要になります。弊社ホームページよりご登録をお願いいたします。
※ご使用上のご質問は「故障かな？と思ったら」（P.42）をお読みなった上で、弊社ホームページ内のお問い合わせフォームよりお願いいたします。

◆本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載漏れなどお気づきの点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。
◆乱丁、落丁はお取替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

GHV-BD110シリーズ

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5階
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.1.0